



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

アルジェリア：ブーテフリカ大統領が大統領選挙立候補申請を提出

3月3日、ブーテフリカ大統領は、憲法評議会に大統領選挙立候補申請を提出した。大統領選挙は、4月17日に行われる。同大統領は1999年に大統領に就任し、現在3期目。次期大統領選挙で当選すると、4期目となる。

ブーテフリカ大統領は現在77才で、健康状態が心配されている。2013年4月、脳溢血でパリの病院に入院し、7月に帰国した。秋以降、公務に復帰したものの、ほとんど公の場に出ていない。同年10月、与党・民族解放戦線（FLN）がブーテフリカを党公認候補に決定したものの、本人の立候補表明は行われなかった。その後、与野党から同大統領の4期目立候補への批判が噴出する中で、サアダーニーFLN党首は、同大統領は確実に出馬すると何度も強調してきた。本年2月22日には、今度はサラール首相が、同大統領が立候補することを決定したと発表し、またも大統領自身の立候補表明は行われなかった。

このような中、ブーテフリカ大統領の立候補申請が正式に行われた。現在まで、本人の出馬表明などは行われていない。

これまでに憲法評議会に立候補を申請したのは、ブーテフリカ大統領を含めて6人である。

- (1) アブドゥルアズィーズ・ブーテフリカ（FLN、現職大統領）
- (2) アリー・ベンフリース（無所属、元首相）
- (3) ムーサー・トワーティー（アルジェリア国民戦線党首）
- (4) アブドゥルアズィーズ・ベルイード（未来戦線党党首）
- (5) アリー・ザグドゥード（アルジェリア連合党党首）
- (6) ルイーザ・ハヌーン（労働党党首）

（金谷研究員）